

■この広報紙にあなたが写って
いましたら、総務課企画係（☎82-
4111内線 215）へご連絡くださ
い。写真をさしあげます。

なお、今月のお誕生日おめでと
うはお休みさせていただきます。
次号から、また復活しますので、
掲載希望の方はどんどん応募く
ださい。申込みは毎月10日までで
す。（年齢は問いません）

未来を担う子供たち

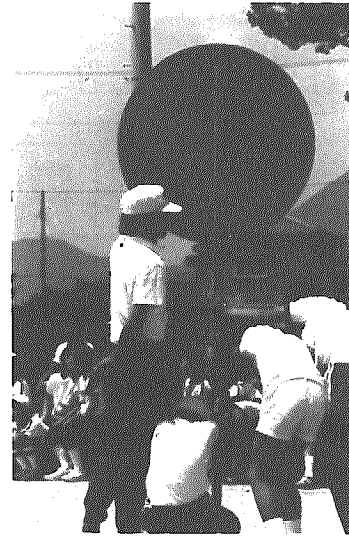


自己記録へチャレンジ

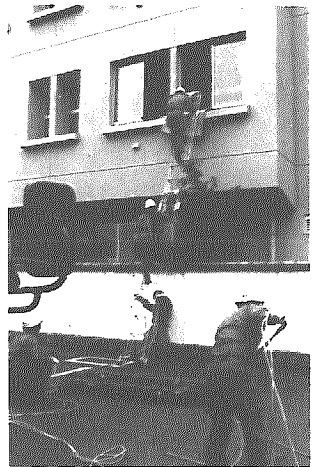
—村内小学校親善陸上大会—



先月七日、第二十二回村内小学校親善陸上大会が
和納小学校グラウンドで開かれました。この大会、
学校間の交流と自己記録への挑戦を兼ねているもの
で、参加した四、六年生は百メートル走り高跳びなど
の競技に自己記録の更新をめざしてがんばっていました。
この日は陸上大会にはもってこいの天候に恵
まれ、応援の音が響く中、好記録が続出していました。



火災はいつ起こるかわかりませ
ん。そして、一瞬のうちに大切な
財産や生命までも奪うことのある
火災。この恐ろしい火災から、私
たちの生活を守るための岩室村消
防定期総合演習が先月十八日行わ
れました。はじめに役場駐車場で
部隊の点検やポンプ操法などが披



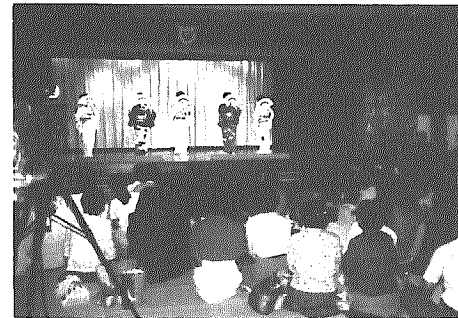
岩室村消防
定期総合演習

露され、続いて丸小山広場から岩
室温泉街への分列行進が行われま
した。演習の締めくくりは、ハシ
ゴ車やレスキュー隊による救助活
動の実演やポンプ車による一斉放
水なども行われ、参加した消防団
員たちも額に汗をうかべながら訓
練に取り組んでいました。



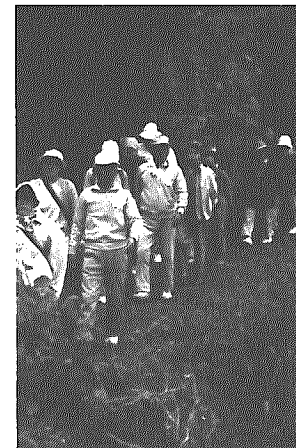
「備えはこれで万全です」

華やかな舞にうっとり



華やかな踊りが咲き乱れた「市山流花七
芽会」の勉強会（通称浴衣ざらい）が先月
18日、公民館で開かれました。この勉強会
は、芸妓さんたちが日ごろ踊りや三味線な
どの稽古に励んできた成果の発表と勉強
を兼ねて開かれたもので、その踊りや唄の艶
やかに、詰めかけた人たちもうっとりし
ていました。

潮風を胸いっぱいにうけて

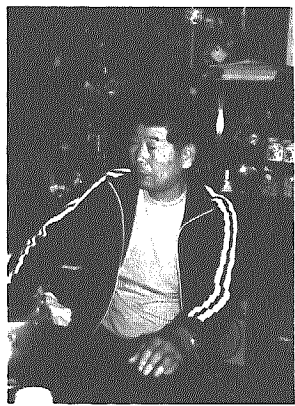


心地よい潮風を胸いっぱいにうけ「老人ク
ラブ歩け歩け」が、先月八日(木)間瀬海岸で約
百三十人の参加のもとで行われました。参加
者たちは田ノ浦海岸をスタート、白岩など自
然がいっぱいの海岸線を約一時間かけて歩き
ました。お昼は間瀬地区公民館でみそ汁大会。
お昼を食べ終るころにはカラオケもとび出す
など、参加者は楽しい一日を過ごしました。

このひと

No. 21

中村宏一さん(北野)



玄関に入るとすぐに目につく飾り衝立
とても素人が彫った物とは思えない作品
がずらりと並ぶ。この木彫りを一つの趣
味として、また、生きがいとしている人
がいます。

動機を話す中村さん。

この木彫り作業、使う道具は主に彫刻
刀と大工ノミの二つだけ。この二つを巧
みに使いケヤキ板や自然木に書を刻み込
みます。その技術も、薬研(やげん)彫
り、浮き彫りとの二種類があります。
「わたしの木彫りは、友人、知人らから書
を書いていただき、それをコピーして板
に張り、ノミや彫刻刀で彫り上げます。
そして、墨やペンキを入れて仕上げます。
この彫り方も、師に就いて学んだわけじ
やなくほとんど我流なんです。いまの時期
は、他にやることがいっぱいあるんで、
ほとんど冬場に集中して彫っています。
でも、頼まれればいつでも彫りますよ」
と木彫りに関して話す中村さんです。

こんな中村さん、生来の器用さと根気
で腕をメキメキとあげ、いままでに柱掛
け、横額、飾り衝立など数多くの作品を
彫りあげています。それに、その出来上
った作品も「ほしい」と言われてくれ
しまったものも多いといいます。

最近では、中村さんの作品のすばらし
さを聞きつけ、頼みに来る人も多いたの
こと。でも、中村さんは、「退屈のぎ
に始めたものですから、まだまだ未熟な
面もありますが、材料の板さえ持つてき
てくだされば喜んで彫って差し上げます
よ」と気軽に応じる中村さん。

ところで、そんな中村さんの最近の悩
みは、木彫りに使う素材(板)が手に入

らなくなってきたことだといいます。で
すから、ときには素材集めのため、わざ
わざ海辺まで自然木を探しに行くことも
あるという中村さん。いま、この平彫り
(平らな板に彫る)から、新たに丸彫り
(仏像や観音像)に挑戦しています。
「平彫りの方は何とか彫れるようになって
たので、これからは、丸彫りで観音様や
大黒様なんかを彫ってみたいですね。で
も、この丸彫り、中心をとったり、それ
に顔の表情をだすのがなかなかむつかし
くて」と、これからは丸彫りに意欲満々
な中村さんでした。

これからも、健康ですばらしい木彫り
作品を作り続けてください。



作品を前にし、木彫りの楽しさを語る中村さん。